

兵庫県商工新聞

編集 兵商連新聞編集委員会
発行 兵庫県商工団体連合会
〒652-0811 神戸市兵庫区新開地4-4-12
☎ (078) 341-0563(代)
FAX (078) 341-0885
http://www.hyoshoren.co.jp/
Email: info@hyoshoren.co.jp

2016年12月
第292号

補助金つかって 経営のばさろ

みんなで学び申請しよう

【兵庫民商】



新しく購入した機械の前で。入江支部 城谷さん

兵庫民商は経営部会の主催で11月15日に「中小業者のための補助金制度学習会」を開催。25人が参加し、制度を学び合いました。経営部会では、9月にも「金融制度学習会」を開くなど、販売にプラスになる取り組みに力を入れてきました。

次はどういった取り組みをするかを検討する中で、数人の会員から「補助金を申請したいが、教えて欲しい」「制度を学びたい」などの要求が出されました。さっそく、経営部

会のなかで討議をし、「会員の要求に応えた取り組みを」「制度を学び、力にしよう」と補助金学習会を企画することにしました。会内には、弁護士、行政書士、司法書士など、頼れる方もいます。今回は、行政書士の会員に講師をお願いしたところ、「つながりのある中小企業診断士の方がいるのでお願いしてみます」と快く引き受けてくれました。

地域に賑わい 各地でまつり

各地で、民商まつりが行われ、地域を元気にしています。各地の取り組みを紹介します。



伊丹民商
11月6日、昆陽池公園で「ふれ愛フェスタ 2016」を開催しました。ここ近年で一番多い、2,000人以上が足を運んで頂き、舞台も模擬店も大賑わいでした。



西宮民商
西宮市などの後援を得て、東三公園(石在町)にて「ものづくり☆商店まつり」を11月13日に開催しました。今年のテーマは、障がい者とともに暮らす地域社会を。市民1500人が参加しました。



加古川・加古&高砂民商
11月20日に加古川市の金剛寺浦公園で加古川&高砂民商まつりを開催しました。地域へのアピール、会員との団結を深めました。

質疑応答では、いろいろな質問・体験談が飛び交いました。入江支部の城谷隆司さん(プラスチック加工)は息子の健司



当日はまず、片山正久 経営部長(家電販売)が「ものづくり補助金」「小規模事業者持続化補助金」の2つの補助金の概要が説明された。

事例もあげて、わかりやすく

人数が増えませんが、声をかけていく中で青年業者や補助金に興味のある方など、参加が広がってきま

た。講師から、申請にあたり「どんな内容が通りやすいのか?」「評価が高くなるのか?」など、具体的な事例の説明があり、事業計画書の書き方や商売の自己分析の方法など、わかりやすく話してくれました。



あいさつする片山正久経営部長(左)

体験談もまじえ交流を

質疑問答では、いろいろな質問・体験談が飛び交いました。入江支部の城谷隆司さん(プラスチック加工)は息子の健司

さん(家電販売)が「ものづくり補助金」「小規模事業者持続化補助金」の2つの補助金の概要が説明された。

参加者からは、「こういう商売に役立つ学習会はありがたい。今後いろいろな学習会を企画してほしい」「申請はなかなか難しいので、みんなで一緒に事業計画書をつくるなど考えてほしい」など要望が出されました。(兵庫・平松通信員)

小規模業者が使える補助金制度

▼小規模事業者持続化補助金(申込は来年1月27日迄・中小企業庁)
小規模事業者の事業の持続的発展を後押しするため、小規模事業者が商工会、商工会議所の支援を受けて経営計画を作成し、その計画にそって取り組む販路

開拓等の経費の一部が補助。(商工会・商工会議所の会員以外でも支援は受けられます)一般の補助上限は50万円。地震は200万円、台風災害型は100万円。

▼業務改善助成金(厚生労働省)
支給対象を事業場内

最低賃金が800円未満の事業場から1000円未満の事業場に拡充するほか、最賃引き上げ額に応じた助成の拡充があります。助成額は50万円〜200万円。生産性向上のための設備・器具の導入。詳しくは厚生労働省HPで。

んはそれでもあきらめず中小企業団体中央会など方々に申請のポイントや計画の立て方などを聞きまわり、1000万円の補助と翌年に1600万円の補助を勝ち取りました。「ただ、補助金を受けても仕事を増やさなければ資金繰りが逆に厳しくなるので注意が必要だ」と具体的な問題が出されました。



もっさり まるか



緊急・切実な要求で要請

11・17 県中小業者決起大会

消費税8%への増税、原材料の高騰、大型店の出店、大企業の撤退、産業空洞化など、自助努力ではどうにもならない、地域経済の疲弊が中小業者の経営とくらしを襲っています。



要望書を渡す磯谷会長、右は竹村正樹政策労働局長

そのような中、中小業者は、「何とか経営をのばしたい」、「従業員と共に知恵を寄せ合いたい」と、日夜、努力を続けています。

力して地域経済を支えています。11月17日、民商・兵商連は朝の県庁前宣伝、午前中の金融機関関係8カ



神戸元町・大丸前宣伝

所への要請行動、午後からの神戸・元町大丸前宣伝、県庁各部署と兵庫県警あわせて8カ所への要請をおこなった。中小業者施策の拡充、改善を求めました。2009年から始めた、この行動は、今年で8回目。8月に開催した兵庫県商工交流会、3年連続の全自治体キャラバンと合わせ、元気の出る行動となりました。

実態から施策の拡充を

県庁各部署要請行動

政策労働局長との話し合いでは、「昨年制定した中小企業振興条例にもとづき、中小企業振興予算を7%増額した」と。しかし、制

度融資の枠が広がったのみで、直接支援など施策の拡充とまではない状況がわかりました。元町高架下・モトコーで飲食店を営む会員から、「JRから立ち退きを迫られ、営業が脅かされている」と訴えもあり、局長は「新聞で知ったぐらいではない。これが本当だったらJRは誠意がないと思う」と、答えました。

平和と憲法を守ろう

沖縄のたたかいに学ぶ

白髪みどりさん「姫路民商」



一番右が白髪さん

11月1〜3日、沖縄・高江ツアーに参加しました。まずは辺野古で現地の方に基地問題とたたかひの展望を話していただき、高江へ移動。N1表ゲートに到着。

資材搬入のダンプの進行を遅らせるために、100台分の搬入。今日は80台、2カ月の完成予定がすでに3カ月を超えてな

お、未完成。自信を持ちましょう」との現地の方からの激励。2日目は、水曜大行動に参加、3日目はN1ゲート前で座り込みに参加。機動隊から「自分で立って移動してください」との促しの声。隣どうしスクラムを組むが、端から一人ずつ剥がされていく。「沖縄から離れていても署名など、できることがある」平和を願う、行動することが大切と、学びました。

健康福祉部との話し合いでは、国保問題に集中。参加者からは、保険証を発行しなければならぬ「特別の事情」について発言があり、「窓口では、『保険料がどれだけ払えるかが先』で、加入者が安

私の商売ものがたり

NO.168 羽田野努さん (爬虫類・小動物販売 宝塚民商)



見て、さわって興味を

心して医療にかかれるよりも、徴収が先立っている。県の指導をお願いしたい」と、要請しました。

兵庫県警との話し合いには、10人が参加。「スナックなど飲食店に対する風営法に基づき立入りは、国会の付帯決議をふまえ、過度な取締りをやめること」と要請しました。

飲食店の会員からは、「どこまでが取り締まりかどうかかわからない。びくびくして営業しなければならぬ」と、胸の内を訴えました。県警からは、「過度な接待であれば、取り締まりの対象に。風営法は目的がはっきりしており、商売をつぶすことは目的にしていない」と回答しました。



みんなにやさしい兵庫をしるそう



兵商連も加入する日、17年県知事選挙に、津川知久代表幹事(兵庫労連前議長)を候補者として擁立してたたかうことを発表しました。同「会」はこの4年間、各種学習会、ニュースの定期発行など活動の継続の

Reptiles and small animals
CANDLE
〒665-0861
兵庫県宝塚市中山寺1-16-18
TEL・FAX 0797-91-2904
携帯電話 080-3807-4958
http://www.r-candle.jp/
info@r-candle.jp
Twitter・ID @2994CANDLE

経営情報

年末に向け「資金繰り」に頭を痛めている。毎月の返済が大変な場合、元本の据置や返済額を減らす条件変更。また、新たな融資を含む、いくつかの借入金を一本化して返済期間を延長し、月々の返済額を減らすことも出来ます。

編集後記

税務・社会保障関係の書類に、マイナンバーの記載を求める機会が多くなり、不安が増すばかりだ。特に不安なのが、独り歩きするマイナンバーの管理責任を業者が負うこと。こんな制度は、なくすことに限る。(Y)